

ステップ4の総括について

平成29年12月21日
沖縄県

本資料の位置づけ

ステップ4では、

- ・ 複数案の比較評価（起終点の検討含む）
- ・ 駅位置の考え方
- ・ 鉄軌道の導入にあたり求められる取組

について、県民や関係機関、市町村に情報提供し、コミュニケーションを図りながら計画検討を進めてきました。

本資料は、県民の皆さま等から頂いたご意見を踏まえ整理したステップ4の総括となります。

I ステップ4における検討事項



検討事項

- ・ 評価項目に基づく複数案の比較評価
- ・ 駅位置の考え方

その他構想段階（概略計画）における計画案策定事項

- ・ フィーダー交通ネットワークのあり方
- ・ 鉄軌道導入にあたり求められる取組（沿線市町村の役割 等）
 - 駅を考慮したまちづくり計画の検討
 - 自動車交通から公共交通転換への取組実施 等

II ステップ4のとりまとめ

1 比較評価結果について

比較評価結果については、難しいとする意見も一部あったものの、理由を明確に示し、評価結果を否定・疑問視する意見は見受けられなかったこと、また、県民等から寄せられた質問・疑問、配慮・留意を求める意見等については、技術的観点から検討・整理を行い、これまでの検討内容について丁寧に説明するとともに、懸念事項等については、今後の検討方針を示すなど、対応を示したことから、ステップ5では、当該評価結果に基づき選定を行っていくこととする。

また、比較評価結果に対しては、様々な効果を期待する意見や、検討にあたり様々な観点から配慮・留意を求める意見が寄せられた他、県民等からも選定にあたっては幅広い視点に基づく検討が求められたことから、ステップ5では、これらの県民等が期待する効果や求める配慮・留意事項等も踏まえ、様々な視点に基づき、よりよい案を選定していくこととする。

加えて、ルートや構造、システム等について具体的検討を行う計画段階以降においては、県民等から求められた配慮・留意事項等も踏まえ、幅広く検討を行っていくこととする。

なお、県民等から寄せられた質問や疑問等に対する回答については、幅広く周知する観点から、ホームページに掲載するとともに、市町村窓口に設置したり、協力頂いた高等学校等へ配布するなど、幅広く情報提供していくこととする。

2 ルート案(延伸等)について

骨格軸のルート案については、沖縄21世紀ビジョンで描く将来の姿の実現等の観点から求められる「那覇と北部圏域の中心都市である名護を1時間で結ぶ公共交通軸の構築による圏域間連携の強化」等、「公共交通の役割」を踏まえ検討を進めてきたところである。

ルート案については、県民等から延伸を求める意見が寄せられたが、骨格軸が安定的・持続的に高いサービス水準を維持し、公共交通の役割が持続的に果たされるためには、採算性の確保が重要な視点であり、フィーダー交通の中でも特に需要の多かった糸満方面、与那原方面への延伸の可能性について検討を行ったところ、いずれの延伸区間も採算がとれず、骨格軸の採算性の低下を招くとの結果が得られたことから、那覇と名護を起終点として検討を進めることとする。

しかし、今後、公共交通の利用環境改善等による利用促進が図られ、公共交通の需要が増加することも考えられることから、将来的には鉄軌道の延伸等について、公共交通の利用状況や地域のニーズ等を踏まえ、検討していくものとする。

また、沖縄の将来の姿の実現等にあたっては、鉄軌道の導入と併せてフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要であることから、計画段階以降は、フィーダー交通の充実に向けて、市町村や交通事業者等と連携して検討を行っていくこととする。

3 鉄軌道導入とあわせて必要な取組について

鉄軌道の導入にあたっては、需要確保、利便性向上等の観点から、駅周辺のまちづくりや、公共交通の利用環境改善、県民意識の醸成、フィーダー交通の充実等に取り組んでいくことが重要であり、現在進めている既存公共交通の利用環境改善に向けた取組を着実に実施するとともに、計画段階以降は、県民等から提案のあった利用促進等に関する具体的取組も参考にしながら、市町村や交通事業者と連携して、まちづくりのあり方や、フィーダー交通との連携のあり方等について幅広く検討を行っていくこととする。

また、各取組にあたっては、可能な限り地域住民の意見も取り入れながら検討を行っていくことが求められていることから、これら意見については、まちづくりの主体である市町村とも情報共有を図り、今後の検討につなげていくものとする。

4 コミュニケーション活動

定点調査による認知度は前回よりも低下したものの、アンケートについては、県内の高校・専門学校等の学生2万5千余人を含め、前回の約4倍となる3万8千人以上の幅広い年代の方々から回答が寄せられ、さらに、パネル展示やオープンハウスにも前回は大幅に上回る方々に参加いただくことができた。

また、わかりやすい情報の提供など改善すべき課題はあるものの、提供した情報内容に対する理解度も高かったこと、さらに、県民等から寄せられた疑問や質問、配慮・留意を求める意見については、技術的観点から検討及び整理を行い対応を示したことから、今回行ったコミュニケーション活動については、情報提供方法及び情報内容、対話、対応について適切に実施され、ステップ4の検討内容について、県民等との情報共有が図られたものとする。

Ⅲ 県民意見のとりまとめ(整理)

1 比較評価結果について

比較評価結果については、特定の案を良いとする又は否定する意見等ルート案に対する個人的意見や、わかりやすい又は難しい等といった評価結果の内容に関する意見、ルート案がどのように検討・設定されたのかわからない等とする比較対象に関する意見が寄せられた他、予測結果に対し疑問がある、あいまいといった意見や、定量的評価の算出方法やルート毎の評価結果の違いに対する質問・疑問等も寄せられた。

さらに、対策案に関し、鉄軌道を導入することによるストローク現象を懸念する意見やスピードを重視する必要はない、鉄軌道を整備しても結局は自動車を利用するのではないかとする意見等が寄せられた一方で、人口の分散化等による地域の活性化、生活圈及び通勤通学圏域の拡大、県民や観光客の移動利便性の向上、自動車利用の減少による交通渋滞の緩和や二酸化炭素排出量の削減、交通事故の減少、交通の充実によるまちの活性化等を期待・求める意見が寄せられた。

また、構造に関しては、コスト縮減や用地確保、高架橋設置に伴う景観への影響を懸念する観点等から地下構造が求められた一方で、車窓からの眺めを楽しみたいとし高架構造を求める意見等が寄せられた他、需要や採算性の確保、事業費や工期の縮減・短縮、不発弾への対応、工事中の交通規制や自然・生活環境への影響等を懸念する等、対策案の今後の検討に関して、配慮・留意を求める意見等も寄せられた。

さらに、基幹軸の整備に関しては、鉄軌道の早期整備が求められた一方で、鉄軌道は必要無い、既存の公共交通で十分とする意見等も寄せられ、対策案に対しては、個々人の様々なニーズや考え、価値観、心配事等が寄せられたところであり、また、ルート案の選定に際し、幅広い視点に基づく総合的判断も求められた。

2 ルート案（延伸等）について

ルート案については、提示したルート案について複数路線を求める意見や経由地以外の居住地等特定地域を経由する新たなルートを求める意見の他、本島の概ねの地域を経由することを求める意見や、北部や南部への延伸を求める意見等が寄せられた。

また、人口が増加している南部への延伸について、採算が取れないとする検討結果に疑問があるとする意見も寄せられた。

3 鉄軌道導入とあわせて必要な取組に関する意見

今後必要な取組として、駅周辺のまちづくり、公共交通の利用環境改善及び県民意識の醸成、フィーダー交通の充実及び公共交通ネットワークの構築に関し、様々な意見が寄せられた。

駅周辺のまちづくりに関しては、駅周辺への駐車場や交通広場の整備、駅の周辺開発による賑わいの場の形成を求める意見等が寄せられ、公共交通の利用環境改善及び県民意識の醸成に関しては、運賃の低減やＩＣカードの導入・拡張等利用環境の改善や、自動車利用の抑制策等公共交通の利用を促進するための社会づくり等が求められた他、個人として、鉄軌道を積極的に利用したいとする意見等も寄せられた。

また、フィーダー交通の充実等に関しては、鉄軌道と既存公共交通との連携、バスの再編やフィーダー交通の充実等による利便性の高い公共交通ネットワークの構築等が求められた。

さらに、沖縄の将来の姿の実現に向けて、公共交通の整備と併せて、道路や自転車専用道路、歩道等の整備や観光メニュー等の充実等を求める意見等も寄せられた。

4 計画段階以降の検討に関する意見

整備計画として、特定施設への駅設置や個別交通システムの導入、需要増に対応した施設整備等を求める意見等が寄せられた他、その他計画段階以降の検討として、予算確保を懸念する意見や、深夜便の設定等の運行計画や列車の具体的デザイン等に関する意見等も寄せられた。

5 検討プロセスに関する意見

今後も様々な媒体を活用し、幅広い周知に努め、わかりやすい情報提供を行うとともに、広く市町村や県民等の意見を聞きながら、慎重かつスピード感を持って、検討を進めることが求められており、加えて、計画段階以降も県民が検討に関われるようなプロセスの検討が求められた。

IV 県民意見の概要

1 比較評価結果に関する意見

1-1 比較対象に関する意見

ルート案がどのように検討・設定されたのかわからないとする意見等が寄せられています。

- ・ 選択肢（ルート）が多すぎて比べにくい、絞って提示したほうが良いとする意見（36件）
- ・ 造らないという選択肢が検討に含まれていない、含めるべきではないか、導入ありきではないかとする意見（10件）
- ・ ルート案について、経由地等がどうやって決まったかわからない、
現況の渋滞等状況も踏まえたものとなっているのかとする意見（8件）・・・等

1-2 比較評価結果全体に関する意見

特定の案を良いとする又は否定する意見等のルート案に対する個人的意見や、良いと思う、いずれの案も良いとする意見、様々な項目に基づく評価がなされている、わかりやすい、難しいとする評価結果の内容に関する意見等が寄せられています。

- ・ 全ての案、特定の案を良いとする、どれでも良いとする意見（1,872件）
- ・ 全ての案、特定の案を否定する意見（77件）
- ・ 良いと思う、いずれの案も良い、良い案、特定の項目について良いとする意見（1,299件）
- ・ 様々な項目に基づく評価がなされているとする、データが整理されており、
きめ細かい検討・分析がなされているとする意見（93件）
- ・ わかりやすい、理解できた、特定の項目についてわかりやすかった、理解できた、～だとわかった。
いろいろ課題があることがわかった等、内容の理解度に関する意見（240件）
- ・ 内容について、特定の項目について専門的すぎて難しい、
どの案を選んだら良いのか難しくてわからないとする意見（65件）・・・等

1-3 対策案に期待する効果・影響に関する意見

1-3-1 県土の均衡ある発展に関する意見

沖縄振興、人口の分散化等による地域の活性化、居住地の選択肢拡大、生活圈・通勤通学圏域の拡大や全ての地域が利便性を享受できることを望む意見等が寄せられた一方で、ストロー減少を懸念する意見や、スピードを重視する必要はないとする意見等も寄せられています。

- ・ 沖縄や子ども達の将来のため、沖縄の発展、自立型経済の構築、経済振興・雇用拡大、豊かな生活等の幅広い観点から導入を求める、様々な効果に資する、期待する、期待するルートにしてほしいとする意見（331件）
- ・ 沖縄の全ての地域の活性化、地域の活性化、人口分散による県土の均衡・総合的発展に資するルート、全ての地域が利便性を享受できるようにしてほしいとする意見（98件）
- ・ 特定の市町村、衰退している市街地の活性化、過疎地の活性化、北部や東海岸といった開発が遅れている地域の活性化に資するルートを求める、地域格差が大きくならないよう配慮を求める意見（275件）
- ・ 人口の分散化等による地域活性化、居住地の選択肢拡大、生活圈の拡大、過疎化の解消、県土の均衡ある発展が期待できるとする意見（66件）
- ・ 通勤・通学が楽になる、無理なく通えるようになる、通勤・通学圏が広がる、職業や学校の選択肢が広がる、教育環境の格差是正等に資するとする意見（125件）
- ・ 中南部と北部間の交流が容易にできるようになる、北部等遠くに住んでいる親戚や友人等にも会いやすくなる、遠くにも行きやすくなる、人的交流が促進されるとする意見（192件）
- ・ 鉄軌道を導入することによるストロー現象、北部の衰退が懸念される、北部の活性化には資さない、資するか疑問とする意見（31件）
- ・ 那覇～名護を1時間で結ぶ必要は無いのではないかと、スピードを重視する必要は無いのではないかと、ゆったりとした移動を可能とする方が良いのではないかとする意見（22件）
- ・ 名護までは要らない、沖縄市等までで良い、うるま等～名護は需要が少ないため要らないのではないかと、需要のあるところに絞って検討した方が良いとする意見（88件）　　・・・等

1-3-2 県民及び観光客の移動利便性の向上、世界水準の観光リゾート地の形成に関する意見

高齢者を含めた県民及び観光客全ての人の移動利便性の向上、移動の選択肢拡大が期待されています。また、定時性や速達性の向上等による交通の便の悪い地域における交通の改善・充実、県民生活の向上が期待されています。

- ・高齢者等交通弱者や自動車を持っていない人にとって便利になる、気軽に外出できるようになる、車を運転することができない観光客にとっても便利になるとする意見（529件）
 - ・移動が便利・楽になる、行動範囲が広がる、移動手段が増えることにより便利になる、いろいろなところに行きやすくなるとする意見（1213件）
 - ・高速道路等高規格道路とかぶらないルートを求める、国道58号又は高速道路等がある地域は既に便利なので、それ以外の交通の便が悪い地域に通すべきとする意見（100件）
 - ・東西横断・連携が可能なルートにしてほしいとする意見（36件）
 - ・歩く機会の増加によるメタボ・運動不足解消等を期待する意見（105件）
 - ・定時性の確保を求める、時間通りに移動できることを期待する、計画的、時間が読めるようになるとする意見（158件）
- ・・・等

1-3-3 中南部都市圏の交通渋滞緩和に関する意見

自動車利用の減少による渋滞緩和や二酸化炭素排出量の削減、交通事故等の減少が期待されている一方で、結局は自動車を利用するのではないか、公共交通を乗り継いでまで鉄軌道を利用しないのではないかとする意見も寄せられています。

- ・自家用車利用の減少が期待できる、車社会からの脱却、車を利用せずに移動ができるようになる、車に頼らない生活が可能となるとする意見（227件）
 - ・渋滞の解消を期待する・求める意見、交通渋滞が緩和され、交通量が少なくスムーズな移動が期待できるとする意見、交通量が多く渋滞緩和に効果の高い箇所を経由するルートにしてほしいとする意見（1011件）
 - ・車が減り、排気ガス等の削減が期待できる、環境にも良いとする意見（132件）
 - ・車社会であるため結局は自動車を利用するのではないか、駅の数も限られており、公共交通を乗り継いでまで鉄軌道を利用するかは疑問、現実的には車依存型社会が続く、車での移動で十分とする意見（487件）
 - ・観光客や高齢者の交通事故の減少が期待できる、飲酒運転の減少にも資するとする意見（191件）
- ・・・等

1-3-4 まちづくり等に関する意見

公共交通の充実による駐留軍用地跡地やまちの活性化等が期待されています。

- ・まちづくりが行われることにより、駅周辺が活性化する、賑わいが創出されることを期待する、地域の開発計画・ビジョンを踏まえた開発を求める意見（40件）
- ・駐留軍用地跡地の活性化にも資するよう配慮してほしいとする意見（13件）・・・等

1-4 対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見

1-4-1 構造・導入空間に関する意見

構造の検討にあたっては、コスト縮減や用地確保、利用者の利便性、有事や自然災害への対応、景観や車窓からの眺め等への配慮等、幅広い視点での検討が求められています。

- ・コスト縮減や用地確保、車窓からの眺め等の観点から高架構造による整備、道路への高架構造による導入を求める意見（37件）
- ・用地確保、有事や自然災害への対応、景観、気象等の観点から地下構造、既存道路への地下構造による整備を求める意見（179件）
- ・コスト縮減や景観、交通弱者等の利便性の観点等から、地平構造が良いとする意見（11件）
- ・踏切は避けた方が良い、踏切による渋滞、事故等の観点から踏切のある構造（地平構造）、路面はやめた方が良いとする意見（13件）・・・等

1-4-2 需要の確保に関する意見

需要の安定的な確保が懸念されており、利用促進に向けた取組が求められています。

- ・利用者が本当に見込めるか不安、観光客を今後も維持できるのか、安定的に需要を確保できるのか心配とする意見（146件）
- ・需要増にむけ、利用促進等に向けた取組等を求める意見（32件）

1-4-3 採算性の確保に関する意見

鉄軌道の持続的な運営、採算性の確保等が求められています。

- ・需要が多く確保でき、採算性の確保が可能なものにしてほしい、黒字転換が可能なルートにしてほしい、維持してほしいとする意見（497件）
- ・赤字でも導入してほしい、沖縄の場合、赤字は仕方ない、赤字でも社会インフラとして、福祉政策として整備してほしいとする意見（46件）
- ・採算性が心配、県民の負担とならないか、県民の負担増とならないかを懸念する意見（591件）
- ・採算性を確保するためには上下分離方式で整備すべき、上下分離方式で対応すべきとする意見（34件）・・・等

1-4-4 費用対効果に関する意見

費用に見合った効果が得られるよう、既存交通事業者との連携、連携による便益向上等が求められています。

- ・B/Cが1を下回るようであれば、事業をやめるべきではないか、費用にみあった効果・利益が得られるか疑問、懸念されるとする意見（30件）
- ・バス・モノレール・タクシー業者、沖縄自動車道、道の駅など、既存の交通事業者の経営への影響を懸念する、共存の観点から既存交通事業者との連携を求める意見（405件）
- ・B/Cの数値のみの評価ではなく、社会インフラとしての機能、効果を踏まえ考えるべきでないかという意見（3件）・・・等

1-4-5 事業費及び工期に関する意見

事業費の縮減、工期の短縮等が求められています。

- ・事業費が高い、工期が長いとする意見、もっと増えるのでは、財源が心配とする意見（611件）
- ・お金がかかっても、時間がかかっても長期を見据えた整備を求める意見（16件）
- ・コスト縮減を求める意見、工期短縮を求める意見（213件）・・・等

1-4-6 地形・地盤、自動車交通への影響、耐災害性に関する意見

地盤上の課題や不発弾への対応、工事中の交通規制や米軍基地内の一部通過による米軍との調整等について懸念する意見等が寄せられています。

- ・台風、地震、津波等自然災害による被害を懸念する、災害等への対策を求める意見（120件）
- ・工事中の交通規制、交通渋滞を懸念する、適切な配慮を求める意見（312件）
- ・不発弾による影響を懸念する、不発弾があるため地下トンネル工事は難しいのではないか、工事前の磁気探査を求める意見（209件）
- ・米軍基地への導入許可の可否、安全性、事故等の際の立ち入り制限、ヘリ等による危険性等の観点から米軍基地内への導入を懸念する意見（205件）
- ・石灰岩や断層等地形について懸念がある、地下への整備が懸念される、整備は可能なのか、ルートによって異なるのかとする意見（76件）・・・等

1-4-7 自然環境、騒音・振動、景観、CO2削減に関する意見

事業実施による自然・生活環境への影響や、構造物設置に伴う景観への影響を懸念する意見のほか、車窓からの眺めに対する配慮を求める意見等が寄せられています。

- ・環境、自然を残してほしい、自然に配慮してほしい、環境に配慮した整備を求める、自然環境に配慮したルートを求める意見（環境影響低減を求める意見）（1344件）
- ・自然や景観等を破壊するのは反対、導入したら自然が壊れるとする意見（事業中止を求める意見）（74件）
- ・工事中及び公共交通運行に伴う騒音への影響を懸念する、又は影響低減、配慮、対策を求める意見（234件）
- ・構造物設置に伴う景観（まちや周辺環境）への影響、配慮を求める意見（120件）
- ・車窓からの眺めへの配慮、眺めの良い環境を求める、海沿いルートを求める、沖縄の景色を楽しめるルートを求める意見（163件）・・・等

1-5 ルート選定に関する意見

選定にあたっては、幅広い視点で検討し、総合的によりよい案を判断してほしいとの意見等が寄せられ、また、各地域からは各地域の課題等解決の観点から特定ルートを求める要請が出されております。

- ・ 県民又は観光客の誰を重視するのか分からない、ターゲットを明確化すべきとする意見（57件）
- ・ 一つの視点だけでなく、幅広い観点で、メリットやデメリットを踏まえ、バランスを見て総合的に、よく考えて選定してほしいとする意見（61件）
- ・ ルートから外れた地域からは不満は出ると思うが、それはどのルートを選んでも同じなので、しっかり進めてほしい、沖縄にとってよりよい案を選定してほしいとする意見（10件）
- ・ 鉄軌道の整備については、県土の均衡ある発展と交通渋滞の緩和を目指す観点から、4ルート案のうち中部東・北部東ルート（D案）を採用すること。（4件）【要請 金武町議会 H28. 6. 22, 宜野座村議会 H28. 6. 24, 金武町商工会 H28. 11. 30, 宜野座村商工会 H28. 11. 30】
- ・ 以下の読谷村の現状を鑑みルートを決定してほしい。
 1. 読谷村は東地区に広大な米軍施設（嘉手納弾薬庫）を抱える地区であり、戦後復興である道路行政が遅れた地域であること。
 2. 大戦前は、嘉手納町まで軽便鉄道が通っており「西ルート」は戦後処理の意味合いもあること。
 3. 沖縄本島を訪れる観光客の約9割が西ルート地区に宿泊するということ。
 4. 沖縄唯一の鉄軌道（モノレール）は都市部に建設されており町村部との交通格差が出来ていること。
 5. 「西ルート案」は那覇～名護間の距離が最も短く（約60km）用地代も安くなることが考えられ、予算的にも安価になることが予想されること。（1件）【要請 読谷村議会 H28. 9. 28】
- ・ 選ぶのは大変、市町村間でもめるのではないかと、結果等について説明するにあたっても苦労するのではないかとする意見（17件）・・・等

1-6 比較評価結果に関する質問・疑問等に関する意見

予測結果に対し疑問がある、あいまいといった意見や、定量的評価の算出方法やルート毎の評価結果の違いに対する質問・疑問等が寄せられています。

- ・結果全体に対し、疑問がある、あいまい、楽観的、予測は確実なのか？とする意見（65件）
- ・物流や、他交通機関との結節等踏まえた視点での評価等も行うべきとする意見（15件）
- ・ルートの詳細が知りたい、具体的にどこを通るのかわからないとする意見（87件）
- ・構造はどう設定したのか、この設定はありきなのかといった構造想定を考え方を聞きたいとする意見（25件）
- ・所要時間は算出方法、停車駅の考え方、自動車との比較を行わなかった理由も含め検討方法、各地域及び各観光地への所要時間について知りたいとする意見（27件）
- ・利用者数等の試算の前提条件となるサービスレベル（運賃、運行本数、所要時間、駅数、駅位置）について聞きたいとする意見（258件）
- ・利用者数等の試算の前提条件となる定住人口及び観光客数等について聞きたいとする意見や駅が出来た後の人口変動を踏まえた、他交通機関との連携も踏まえた予測を行べきではないかとする意見（29件）
- ・鉄軌道や公共交通利用者（具体的な内訳含む）の目的別内訳について聞きたい、ルート毎の利用者数の違いについて知りたい、予測通りの需要を見込めるのかとする意見（70件）
- ・どの程度渋滞緩和するのか具体的な効果を知りたい、どれぐらいの人が公共交通に転換するのか、潜在需要を調査すべきとする意見（36件）
- ・上下分離方式と上下一体方式について、違いがわからない、何が違うのか、何故黒字転換しないのかわからないとする意見（34件）
- ・採算性の試算結果はどうなっているのか、正確に評価したのか、どうしてこんなに黒字転換しないのかわからない、ルートによって何故、結果に大きな差が生じるのかわからないとする意見（66件）
- ・費用対効果の算出方法・計測項目がわかりづらい、CO2削減効果、経済効果等がどの程度あるのか聞きたいとする意見（40件）
- ・工期はどの程度か、いつ完成するか聞きたい、本当にこの工期で完成するのか、米軍との協議期間の取扱い等、工期の算出方法について聞きたいとする意見（216件）
- ・工事費とその算出根拠について聞きたい、本当にこの費用で大丈夫なのか、ルートによって大きく異なる理由について聞きたいとする意見（74件）
- ・鉄軌道とは何を指すのかとの意見（12件）
- ・まちづくりに対する具体的効果がわからないとする意見（3件）・・・等

1-7 基幹軸の整備に関する意見

鉄軌道の早期整備が求められている一方で、鉄軌道は必要無い、既存の公共交通の充実で十分とする意見等も寄せられています。

- ・是非実現してほしい、できるだけ早く整備（着工）してほしいとする意見（3,016件）
- ・鉄道が無いのは沖縄だけ、本土と同じように整備してほしいとする意見（45件）
- ・必要性を感じない、必要無いのではないか？、必要あるのか？とする意見（223件）
- ・鉄軌道は必要無い、要らないとする意見（578件）
- ・事業費や工期が多く・長くかかるなら、採算性が厳しいのなら、環境等に影響が生じるのなら、要らないのではないかとする意見（113件）
- ・沖縄らしさがなくなるのではないかとする意見（22件）
- ・道路整備又はバスの利便性向上・充実を図ることで足りる、まずは、道路整備、バスの利便性を向上させることが重要ではないか、モノレールや既存バス等既存ストックの活用で十分とする意見（320件）
- ・モノレールの延伸で十分ではないかとする意見（362件）
- ・整備する必要があるのか、必要性について再度、慎重に検討してほしい、その上で整備するか判断してほしいとする意見（34件）・・・等

2 ルート案（延伸等）に関する意見

2-1 那覇～名護区間におけるルートへの付加を求める意見

複数路線の整備を求める意見や、経由地以外の居住地等特定地域を経由する新たなルートを求める意見等が寄せられています。

- ・環状化等、様々な地域に行くことができる案、部分的に周遊可能な案を求める意見（72件）
- ・東西両方の利便性をあげるため、提案しているルート案を東西に2本通すべき、又は、中部から北部にかけて分岐すべき、58号と330号両方通すべきとする意見（131件）
- ・経由地以外の特定の地域を経由する新たなルート案を求める、別ルート案を求める意見（241件）・・・等

2-2 名護以北や南部への延伸を求める意見

移動利便性の観点等から本島の概ねの地域を経由すべき、国頭から糸満で整備すべきとする意見や、観光客の利便性や渋滞緩和等の観点から北部や南部への延伸を求める意見・要請等が寄せられています。

- ・本島概ねの地域を経由すべき、国頭から糸満まで整備すべきとする意見（520件）
- ・美ら海水族館のある本部町や国頭等、名護以北への延伸を求める意見（536件）
- ・人口が増加していて、観光地も多い南部地域へ延伸してほしいとする意見（1728件）
- ・県土の均衡ある発展を目指すため、南部地域における公共交通網の将来的あり方についての取り組みを強化し、南部循環・東西横断など南部地域への鉄軌道を含めた新たな公共交通システムの早期導入を強く要望する。（3件）

【要請 沖縄県町村議会議長会 H28. 2. 16、与那原町議会 H28. 3. 7、八重瀬町議会 H28. 3. 24】

- ・上位計画である沖縄21世紀ビジョンで掲げた「中南部地域を縦貫し、北部圏域に至る鉄軌道」の実現に向け、南部地域も骨格軸に含めた鉄軌道の計画検討を行うこと。特に、課題の整理においては、南部地域の脆弱な公共交通網についても、課題として整理を行い、構想段階における手続きを進めること。（2件）

【要請 豊見城市 H29. 9. 15、糸満市 H29. 9. 15】

- ・今回示された検討においては、那覇以南についてのみ、採算性の整理を行い、那覇～名護間としているが、内閣府の調査においては、那覇～糸満間については、うるま市～那覇間に次いで、需要が見込まれることが想定されている。また、那覇～糸満間については、近年橋梁・トンネルの施工実績も豊富で、道路用地の取得も進捗している。対象区間の検討においては、公平な検討を行うこと。（2件）

【要請 豊見城市 H29. 9. 15、糸満市 H29. 9. 15】 ・ ・ ・ 等

2-3 疑問・質問に関する意見

起終点は、何故那覇と名護なのか、人口が増加している南部への延伸について、採算が取れないのは疑問であるとする意見等が寄せられています。

- ・人口が増加している南部について、採算が取れないのは疑問であるとする意見（11件）
- ・起終点は何故、那覇と名護となっているのかとの意見（13件）
- ・今回、南部への延伸区間については、採算性の低下を招くということで除外されている。各ルート案は骨格軸全体で評価するのに対し、延伸の可否については、延伸部分のみで評価して判断するのは公平性に欠けるのではないかと。（1件）

【市町村会議意見】 ・ ・ ・ 等

3 鉄軌道導入とあわせて必要な取組に関する意見

3-1 駅周辺のまちづくりを求める意見

駅周辺への駐車場や公共交通との乗り継ぎをスムーズに行うための交通広場の整備と併せて、魅力的な駅づくりや駅の周辺開発による賑わいの場の形成等が求められています。さらに、まちづくりに住民も参画可能な仕組みづくりを求める意見等も寄せられています。

- ・ 駅周辺に無料または割安な駐車場、駐輪場、レンタカーステーション等を整備し、誰もが鉄軌道を利用しやすいようにしてほしいとする意見（664件）
- ・ 駅周辺には交通弱者等含め誰もがバス等との乗り継ぎがスムーズに行えるように、バスプールやタクシーの乗降場等交通広場の整備を行ってほしいとする意見（141件）
- ・ 魅力的な駅づくり、駅内の機能（喫煙所やトイレ、待合所、WI-FI等）の充実を求める意見、駅周辺開発による賑わいの場の形成、駅周辺の商業施設や保育園等様々な施設の立地促進、地域にあった駅周辺開発を求める意見（786件）
- ・ 駅周辺開発等に伴う治安の悪化等が心配、治安維持に努めてほしいとする意見（38件）
- ・ まちづくりに住民も参画できる仕組みを作してほしい、参画したいとする意見（22件）
- ・ 駅周辺のまちづくり等にあたっては、市町村や地域による主体的取組が必要とする意見（42件）・・・等

3-2 公共交通の利用環境改善に向けた取組に関する意見

運賃の低減や、ICカードの導入・拡張、高齢者を含む全ての人が利用しやすい利用環境整備等が求められています。

- ・ 鉄軌道へのICカードの導入を求める、OKICAのSuica等との互換性や商業施設等での利用等が可能となるよう拡張等利便性向上を求める意見（451件）
- ・ 公共交通の運賃を安くしてほしい、公共交通運賃の学割、シルバー割、乗り継ぎ割引等の設定等、運賃の低減を図ってほしい。車移動に慣れた県民や学生等の利用促進には運賃の低減が重要とする意見（1126件）
- ・ 高齢者や障害者、観光客等全ての人が乗りやすい、利用しやすいようバス停や駅、車両等のユニバーサルデザインを求める意見（181件）
- ・ バスも含めた公共交通の定時性を確保することが重要（149件）
- ・ 安全安心でテロ等の事件や事故の無い公共交通を求める、鉄軌道の踏切事故やホームからの転落事故等を懸念する、事件・事故防止を求める意見（318件）・・・等

3-3 公共交通の利用促進に向けた取組を求める意見

公共交通を積極的に利用したいとの意見が寄せられている他、公共交通の利用促進に向けた自動車利用抑制策等、様々な取組提案がなされております。

- ・マイカーとのすみ分け、公共交通利用に対する県民意識の醸成等が重要といった、車社会からの脱却、車を利用しないでも生活できる社会となるような取組を求める意見、公共交通の利用促進に向けた取組を求める意見（241件）
- ・個人として鉄軌道ができれば利用したい又は積極的に利用したい、公共交通を意識して利用していきたい、渋滞緩和に向けて協力したとする意見（664件）
- ・早期の運転免許の返上、都市部への車の乗り入れ制限など自動車利用を制限、減少させる取組を求める意見（47件）・・・等

3-4 フィーダー交通の充実、ネットワークの構築を求める意見

鉄軌道と既存公共交通との連携、バスの再編やフィーダー交通の充実等による利便性の高い公共交通ネットワークの構築が求められています。

- ・鉄軌道とバス、コミュニティバス等との連携を図り、様々な地域、特定施設に移動しやすいネットワークの構築を求める意見、駅周辺の方だけでなく、広く県民が恩恵を受けるようにしてほしいとする意見（896件）
- ・長距離路線の見直し、支線化等バスの再編を求める意見（39件）
- ・LRTの導入、特定の地域へのLRT導入を求める意見（36件）
- ・ゆいレールの活用、特定の地域へのゆいレールの延伸・充実を求める意見（82件）
- ・BRT、コミュニティバス、バイクシェアリング等、地域にLRTを除く新たなシステムの導入を求める意見、需要に応じた交通手段を求める意見（56件）・・・等

3-5 将来像実現に向けて公共交通以外で取り組むべきとする意見

公共交通の整備と併せて、道路や自転車専用道路、歩道等の整備や観光メニュー等の充実等が求められています。

- ・公共交通の整備だけでなく自転車専用道路、歩道の整備などを求める意見（33件）
- ・公共交通の整備だけでなく既存道路の拡幅・改良・充実、新たな道路整備などを求める意見（105件）
- ・鉄軌道と連携した観光メニューの充実、観光客がゆっくり滞在できる施設の確保等、観光振興に関する取組を求める意見（73件）・・・等

4 計画段階以降の検討に関する意見

4-1 整備計画検討等に関する意見

- ・特定の施設、人の多いところ（学校や病院等）に駅が必要とするといった意見（134件）
- ・多くの人ができるよう駅数は多い方が良い、駅の数を増やしてほしいとする意見（111件）
- ・フィーダー交通の検討は駅位置が非常に重要となるので、駅位置は、市町村等とも十分議論、意見を聞いて判断してほしいとする意見（25件）
- ・空港や港、バスターミナルなど、交通結節点との接続を求める意見（88件）
- ・ゆいレールとの接続を求める意見（48件）
- ・車両数の増加に対応できるホーム長等、需要増に対応できるようにしてほしいとする意見（18件）
- ・小型・普通鉄道、地下鉄が良いとする意見（81件）
- ・モノレールにしてほしいとする意見（260件）
- ・コスト、乗りやすさ、車窓からの眺め、早期実現等の観点からLRT（路面電車）が良いとする意見（98件）・・・等

4-2 その他計画段階以降の検討に関する意見

- ・中南部地区から整備してほしい、又は段階的に整備してほしいとする意見（22件）
- ・一旦、整備した後、うまくいけば延伸等してほしい、将来的には延伸等行ってほしいとする意見（58件）
- ・鉄軌道整備の予算が確保できるのか懸念、心配する意見（265件）
- ・事業費は国に負担してもらわなければならない、国の支援を得るべき、支援を得られるように取り組むべきとする意見（107件）
- ・運行本数を増やし、深夜の運行など利用しやすいようにしてほしいとする意見（138件）
- ・沖縄は潮風の影響を受けるため、錆などの塩害を考慮した車両、施設等の整備を求める意見（28件）
- ・イベント・観光列車、女性や子ども専用車等を求める意見、又はデザインは大切とする、豪華なデザイン、沖縄らしいデザイン等を求める意見（169件）
- ・鉄軌道について、ゆとりのある車両にしてほしいとする意見（観光客がスーツケースを持っていることを考慮）（82件）
- ・地元発注を求める意見（29件）
- ・地元で愛される鉄軌道を求める意見（55件）
- ・鉄道の自動運転や駅の無人化等、リゾートにおいて交通機能を快適にするための規制緩和について、特区を最大限に活用して盛り込んでいってはどうか。（1件）【関係機関等意見交換会意見】・・・等

5 検討プロセスに関する意見

5-1 コミュニケーションに関する意見

今後も様々な媒体を活用し、幅広い周知に努め、わかりやすい情報提供に努めてほしい。

- ・周知が足りない、もっとアピールしてほしい、マスメディア、SNS等の活用や説明会の開催、人が集まる場所でのパネル展示の開催等、積極的に周知してほしい情報提供に力をいれてほしいとする意見（280件）
- ・今後も継続して、進捗状況等についてニューズレターやHP等を通じて情報提供、意見募集してほしいとする意見（23件）
- ・鉄軌道ニュースやパネルの内容が細かすぎる、内容・言葉が難しい、わかりにくい、わかりにくいためアンケートに回答できないとする意見（1112件）
- ・子供からお年寄り等、誰もが理解できるように、図や漫画を取り入れたり、生活イメージを示したり、タブレットの活用を図る等わかりやすい情報提供を図ってほしいとする意見（225件）
- ・ニューズレターやパネルにより理解が進んだ、よくわかった、説明がわかりやすく良かったとする意見（65件）
- ・“がんばってください”や“お疲れ様”など、励ましの意見（561件）
- ・興味が無い、自分には関係ない、自分の地域には通らないから関係ない、住んでないからわからない・ピンとこない、これまで興味が無かった、今から考えてみますとする意見（211件）
- ・アンケートの問いかけがわかりづらい、回答も選択式にするなどの工夫が必要とする意見（29件）・・・等

5-2 検討の進め方に関する意見

広く市町村、県民等の意見を聞きながら、慎重かつスピード感を持って、検討を進めてほしい。また計画段階以降も県民等が検討に関われるようにしてほしい。

- ・福祉、医療、教育等他施策を優先すべき、他施策に予算を充てるべきとする意見（168件）
- ・情報を公開し、有識者、専門家、関係機関、地域住民等多くの県民、県内外の利用者等の声をしっかり聞いて進めてほしい、コンセンサスを得ながら進めてほしいとする意見（144件）
- ・取組が遅く生きている間には完成しない、検討を始めるのが遅かったのではないか、何故今なのか、市街地が形成される前に取り組むべきではなかったのか、検討のスピードをあげてほしい、時間がかかりすぎとする意見（220件）
- ・計画実現に向け、地域の理解を得ることが重要、地域等の理解を得て県民一体となった取り組みを行うことが重要とする意見（48件）
- ・これからも引き続き、具体的ルート、起終点、駅位置、フィーダー等の検討に関わっていききたい。（1件）【県民会議共通意見】・・・等